

第9次春日井市高齢者総合福祉計画の進捗状況

1-1 いきがづくりの推進

	具体的施策	今年度の取組状況・変化・新たな課題
1	高齢者が活躍できる環境の充実	【新たな取組み・動き】 1 かすがいいいきポイントの開始 ・65歳以上の市民を対象に、趣味活動や地域活動などを行った際に、電子マネーに交換できるポイントを付与。 アプリ登録者 2,807人 (R7.12月末時点)
2	老人クラブ活動の促進	【継続的な取組み】 1 老人クラブの発展及び会員のいきがいのある生活のための各種行事の実施や検討 【課題】 1 クラブの会員の減少・役員の担い手不足 2 高齢化による交通手段の確保 3 市老人クラブ連合会の行事の見直し
3	生涯学習・スポーツ活動への支援	【継続的な取組み】 1 かすがいいいきアカデミー 2 全国健康福祉祭(ねんりんピック)出場者選手への激励費の支給 3 レクスポ&ウォーク祭 4 かすがい!スポーツフェスティバル 5 新春春日井マラソン大会
4	多世代・地域交流の促進	【継続的な取組み】 1 他の任意団体と協働して地域の多世代との交流の場を提供する老人クラブに対し、補助金を交付 2 住民主体のサービスを実施する団体に対し、事業の立ち上げ及び運営に係る費用を補助

		【課題】 1 地域の介護予防のための高齢者サロンは充足しており、今後は多世代交流や民協働を意識した地域共生サロンの支援の在り方を検討する必要がある
5	高齢者のデジタル技術の活用への支援	【継続的な取組み】 1 スマートフォン教室やパソコンの使い方講座などの実施 2 スマホ活用サポーター養成講座の実施

1-2 健康づくり・介護予防の推進

	具体的施策	今年度の取組状況・変化・新たな課題										
1	健康づくりの推進	【継続的な取組み】 1 健康支援プログラム登録企業から講師の派遣を受ける健康づくり出前講座の実施 2 健康マイスターボランティアによるお気軽運動教室の実施 ※ 「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」においても健康づくりを実施										
2	介護予防の充実	【新たな取組み・動き】 1 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業を市全域で実施 <table border="1" data-bbox="936 981 1659 1082"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施圏域数</td> <td>1 地区</td> <td>6 地区</td> <td>9 地区</td> <td>12 地区（市全域）</td> </tr> </tbody> </table> 2 ハイリスクアプローチの充実 <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度から市保健師に代わり、地域の中で継続する取組みの環境を作ることができる地域包括支援センター職員が、健診、医療や介護との接続がなく、生活習慣病やフレイルのおそれがある高齢者を訪問し、個別的支援による保健指導や介護予防の支援を実施 高齢者の生活習慣病の重症化を防ぐため、糖尿病性腎症に加え、令和8年度からは高血圧症・慢性腎臓病の重症化予防の取組を追加 	年度	R4	R5	R6	R7	実施圏域数	1 地区	6 地区	9 地区	12 地区（市全域）
年度	R4	R5	R6	R7								
実施圏域数	1 地区	6 地区	9 地区	12 地区（市全域）								

		<p>3 介護関係者を対象に、ヒアリングフレイル講座を実施</p> <p>【継続的な取組み】</p> <p>1 住民主体のサービスを実施する団体に対し、事業の立ち上げ及び運営に係る費用を補助</p> <p>2 高齢者サロン等への介護予防講師派遣事業</p> <p>3 口腔機能の向上を目的に高齢者サロンへの出張指導や歯科医院での個別指導を実施</p> <p>4 聴力機能の低下した高齢者への補聴器の購入費の助成</p> <p>5 高齢者サロン等に医療専門職が出向き、健康測定会又は健康教育を実施する「フレフレ！フレイル予防教室」を開催（ポピュレーションアプローチ）</p> <p>【課題】</p> <p>1 多くの高齢者の健康意識を向上させるため、健康教育を実施する教室の開催回数の増加</p> <p>2 地域の介護予防のための高齢者サロンは充足しており、今後は多世代交流や民協働を意識した地域共生サロンの支援の在り方を検討する必要がある（再掲）</p>
--	--	---

	項目	2023（令和5）年度 実績値	2024（令和6）年度 実績値	2025（令和7）年度 実績値		2026（令和8）年度 目標値
1	住民主体の通いの場への参加人数	延べ71,420人	延べ80,211人	※年度末に把握	▶	延べ77,500人
2	療法士等派遣事業の派遣回数	54回	48回	41回 (1月時点)		60回

1-3 人にやさしいまちづくりの推進

	具体的施策	今年度の取組状況・変化・新たな課題
1	移動支援の充実	<p>【新たな取組み・動き】</p> <p>1 かすがいシティバスの再編 ・令和8年10月のシティバス見直しに向け、路線や停留所、ダイヤについて検討を実施 ・路線及び停留所については令和7年度第4回地域公共交通会議において承認済み</p> <p>【継続的な取組み】</p> <p>1 北部オンデマンドバス 2 石尾台ゆっくりカート（主な目的地：商業施設、集会所、病院）</p> <p>【課題】</p> <p>1 各地域の特性に応じた移動手段の検討 2 持続的なサービス提供のための運営主体（NPO 法人）の負担軽減</p>
2	防犯・生活安全の強化	<p>【継続的な取組み】</p> <p>1 65歳以上の人がいる世帯への通話録音装置配付事業 2 65歳以上の高齢者への自転車用ヘルメット購入費補助 3 消費生活講座 4 消費者団体活動の支援の補助金の支給（4団体） ※急発進抑制装置設置費補助については、衝突被害軽減ブレーキの装着率の増加や申請件数の減少等を踏まえ、令和6年度をもって終了</p> <p>【課題】</p> <p>1 申請件数が減少している事業もあり、積極的な周知・啓発に努める必要がある 2 消費者団体の高齢化・担い手不足</p>
3	暮らしやすい環境づくりの推進	<p>【新たな取組み・動き】</p> <p>1 自治会等の要望等で歩道に手摺を設置（高座台地内階段2か所、藤山台地内歩道橋等）</p>


	<p>2 公共施設におけるバリアフリー工事 (総合体育館、鷹来公民館、西部ふれあいセンター)</p> <p>【継続的な取り組み】</p> <p>1 指定病院等や郵便等での不在者投票の実施</p> <p>2 選挙の際に、スロープ、コミュニケーションボード及び拡大鏡を各投票所に設置</p>
--	--

2-1 地域を基盤とする包括的支援体制の強化

	具体的施策	今年度の取組状況・変化・新たな課題
1	重層的な支援体制の強化	<p>【新たな取り組み・動き】</p> <p>1 適切な介護予防ケアマネジメントの実施のため、類型の判断基準を変更</p> <p>【継続的な取り組み】</p> <p>1 地域ケア会議</p> <p>2 専門職カンファレンス</p> <p>3 重層的支援会議（支援会議）</p> <p>4 孤独・孤立対策庁内連携会議</p> <p>5 地域支援研究会</p> <p>【課題】</p> <p>1 増大するケアプラン作成業務の負担軽減のためのケアプランセンター機能の創設</p> <p>2 属性を問わない相談支援と地域づくりを一体的に推進するための多機関協働とプラットフォームの水平的展開</p> <p>3 専門職カンファレンスの実施内容等の見直し</p>
2	地域の見守り体制の強化	<p>【新たな取り組み・動き】</p> <p>1 事業者等に地域見守りホットラインに関する啓発カードを配布</p> <p>【課題】</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 1 幅広い個別避難計画の策定ニーズが想定されるため、策定対象者を拡大する必要がある。 2 ひとり暮らし世帯や認知症高齢者など見守りを必要とする対象者が増加する中で、センサーの活用など効果的に地域で見守る体制を構築する必要がある
3	家族介護者への支援	<p>【新たな取組み・動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 個人を把握し個別具体的な支援につなげることを目的とした、小中高校生に対する任意記名式のヤングケアラー実態調査を開始 <p>【継続的な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 認知症の方や家族をはじめ地域の人が集える場所の設置者の支援 家族介護者支援センター 1か所、認知症カフェ数 35か所（R7.1月時点） 2 高齢者生活支援ショートステイの実施 延利用人数7人（R7.12月時点） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 認知症や要介護者の増加に伴い、家族介護者支援の対象者も増加するため、地域で開催する家族介護者交流会の新設や、既存の交流会の活性化が必要 2 一時的に居宅での生活が困難となった高齢者の生活環境の改善に向けて、住まいの確保の支援を強化する必要がある 3 引き続き、ヤングケアラーの早期発見から支援につなげるため、関係機関との連携に取り組む必要がある
4	地域における福祉活動の促進	<p>【継続的な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 住民主体の地域活動の立ち上げ・運営の支援 2 多様な主体がつながるプラットフォームの構築 市内2か所（R7.1月時点） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 高齢者のいきがいや役割づくりに加えて、高齢者と多世代、民間企業が出会い・交流する機会、場を創出し、地域共生を推進する地域活動づくりが必要
5	権利擁護の推進	<p>【継続的な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 権利擁護支援及び終活サポート事業に係る公開講座（2回）を実施

		<p>2 高齢者虐待及び障がい者虐待を防止するための権利擁護連絡会議を開催</p> <p>3 終活サポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の相談内容に応じ、市に登録している終活支援のノウハウを有する法律などの専門職や民間事業者を紹介する。生前契約者 10 人（R7.12 月時点） <p>4 市民後見人候補者育成研修</p> <p>【課題】</p> <p>1 法人後見の担い手の育成を検討するとともに、国において身寄りのない高齢者を総合的に支援する新たなサービスの創設を踏まえ、重層的かつ総合的な支援体制を検討する</p>
--	--	--

	項目	2023（令和5）年度 実績値	2024（令和6）年度 実績値	2025（令和7）年度 現状値		2026（令和8）年度 目標値
1	地域福祉コーディネーターの配置人数	6人	8人	8人 (12月時点)		12人

2-2 医療・介護連携の推進

	具体的施策	今年度の取組状況・変化・新たな課題
1	在宅介護と介護の提供体制の推進	<p>【新たな取組み・動き】</p> <p>1 在宅医療・介護サポートセンターの運営を市医師会に委託 ・医療と介護の効果的な連携のため、市医師会と市によるサポートセンター運営会議、医療介護関係者が参加する実務者会議を設置。市医師会と緊密に連携しながら事業を推進する体制を構築</p> <p>【課題】</p> <p>1 医療介護の人材不足が見込まれる中、増加する医療介護を必要とする人の支援が途切れないよう ICT の活用などの連携推進の取組みが必要</p>
2	在宅医療・介護に関する普及・啓発	<p>【新たな取組み・動き】</p> <p>1 在宅医療・介護サポートセンターの運営を市医師会に委託（再掲） 2 市民講演会、多職種連携研修、宅医療・介護サポートセンター職員による出前講座の実施</p> <p>【課題】</p> <p>1 春日井市民病院など市以外が行う普及啓発活動を把握し、周知に協力して広く市民が知る機会を増やす必要がある</p>

	項目	2023（令和5）年度 実績値	2024（令和6）年度 実績値	2025（令和7）年度 現状値	2026（令和8）年度 目標値
1	医療・介護関係者の情報共有ツール（かすがいねっと連絡帳）の登録患者数	583人	660人	717人 （12月時点）	900人
2	入院時情報連携加算の算定件数	1,414件	1,445件	1,032件 （11月時点）	1,400件

2-3 認知症高齢者の総合的支援

	具体的施策	今年度の取組状況・変化・新たな課題
1	認知症の人やその家族が安心して生活できる支援策の推進	<p>【新たな取組み・動き】</p> <p>1 大府市が作成した認知症ヘルプマークの配付を開始（R7.12 月末時点 20 件）</p> <p>【継続的な取組み】</p> <p>1 認知症月間を中心に、認知症疾患医療センターや医療・介護関係者と連携しながら広域で啓発を実施</p> <p>2 認知症初期集中支援チームによる相談支援</p> <p>3 認知症高齢者等見守り支援事業によるステッカーの配布や GPS 機器導入費用の助成</p> <p>4 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業</p>
2	認知症高齢者の理解のための普及・啓発	<p>【新たな取組み・動き】</p> <p>1 オレンジ色の花を育てるという共通の活動を通じて地域住民、学校、店舗など多様な主体が参画する協働型の認知症啓発（オレンジガーデニングプロジェクト）を実施</p> <p>2 認知症ヘルプマークの配付を開始（R7.12 月末時点 20 件）（再掲）</p> <p>【継続的な取組み】</p> <p>1 認知症サポーター養成講座を実施</p>

	項目	2023（令和5）年度 実績値	2024（令和6）年度 実績値	2025（令和7）年度 現状値	2026（令和8）年度 目標値
1	認知症サポーター養成講座の受講者数	延べ23,023人	延べ24,579人	延べ25,283人 （1月時点）	延べ28,000人

3-1 高齢者福祉サービスの充実

	具体的施策	今年度の取組状況・変化・新たな課題
1	日常生活支援の充実	<p>【新たな取組み・動き】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 さわやか収集事業の対象者の見直し及び基準の明確化 <ol style="list-style-type: none"> ①ひとり世帯から対象者で構成される世帯へ変更 ②介護認定を受けている者の年齢要件を廃止 ③対象要件に親族等の協力を得ることが困難な世帯であることを明示 <p>【継続的な取組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 移動販売車による買い物機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ナフコ号1台が週4日市内を巡回 ・清水屋号1台が週4日市内を巡回 2 見守り活動や草取りなどの生活支援の互助活動や住民互助の無償運送による移動支援に対する補助 3 訪問等理美容サービス 4 配食サービスの利用助成 5 緊急通報システムの設置 6 シルバーハウジング生活援助員の派遣
2	経済的な支援等の充実	<p>【継続的な取組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自立相談支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・離職などにより経済的に困窮した者の相談や、ひきこもりや障がい者などに対し、面談や訪問などの方法でアセスメントし、必要な支援を行う 2 家庭環境や経済上の理由により在宅生活が困難な高齢者の入所措置 3 介護福祉特別給付金 4 利用者負担額軽減制度

	<p>【課題】</p> <p>1 被措置者本人の希望や身体の状態の変化に応じ、適切な施設等を検討する</p> <p>2 死後事務支援などの必要な手続き支援の検討</p>
--	---

3-2 介護サービスの確保

	具体的施策	今年度の取組状況・変化・新たな課題
1	介護サービスの基盤整備	<p>【新たな取組み・動き】</p> <p>1 グループホーム及び地域密着型特別養護老人ホームの整備事業者を公募</p> <p>【継続的な取組み】</p> <p>1 高齢者関係施設における避難確保計画の作成</p> <p>2 避難訓練の実施</p> <p>【課題】</p> <p>1 避難確保計画作成率及び避難訓練実施率向上のため、効果的な周知・支援の方法の検討</p>
2	介護人材の確保・育成	<p>【新たな取組み・動き】</p> <p>1 介護支援専門員研修受講支援事業費補助を開始</p> <p>【継続的な取組み】</p> <p>1 「愛知介護サポーターバンク」等の取組・研修の情報の発信</p> <p>2 介護支援専門員スキルアップ研修</p> <p>3 介護職員等スキルアップ研修</p> <p>4 生活援助員養成研修</p> <p>5 春日井市介護保険居宅・施設事業者連絡会の実施</p> <p>6 事業所へのハラスメント対策マニュアルや対策事例の周知</p>

3-3 介護サービスの推進と制度の持続

	具体的施策	今年度の取組状況・変化・新たな課題
1	介護サービスの質の向上	【新たな取組み・動き】 1 令和8年2月から介護事業所の指定申請等を国の受付システムで受付開始 【継続的な取組み】 1 介護サービス事業所への運営指導及び集団指導 2 介護サービス施設等への相談員の派遣 3 苦情受付相談
2	適切な介護サービスの利用促進	【継続的な取組み】 1 認定調査票点検 2 適切な要介護認定実施のための各種研修

	項目	2023（令和5）年度 実績値	2024（令和6）年度 実績値	2025（令和7）年度 現状値	2026（令和8）年度 目標値
7	ケアプラン点検実施事業所数	56事業所	66事業所 (実施割合88%)	50事業所 (実施割合68.4%) (12月時点)	74事業所 (実施割合100%)
8	介護サービス事業者の運営指導 実施数（3年間累計）	3年間延べ 255件 (実施割合100%)	99件 (実施割合33.2%)	188件 (実施割合63.1%) (12月時点)	3年間延べ 298件 (実施割合100%)